

- 2 今月の話題「赤蜻祭」
- 4 特集1「いいたて学」
- 10 特集2「ふくしま駅伝」
- 12 農政topics「あぶくまもち」ほか
- 14 飯館百景「錦秋の点描」
- 16 学びの広場「こども園・学園だより」
- 18 ほけんとふくし「むし歯0の子表彰式」ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 はなれていても／ふれ愛館だより
- 24 おしらせのページ
- 25 入札結果
- 26 いいたてDIARY／までのいの食卓
- 27 ふるさと資源／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙
11月21日に開催された『ふくしま駅伝』。飯館村チームの力走は大きな感動を呼びました。表紙は快走した16区・アンカーの細杉睦輝選手。上の写真は20回連続出場、10区・主将の大内龍太郎選手。一人ひとりがチームの信頼に応え、懸命な走りです。16区間をつなぎました。P10の記事もご覧ください。

とことんチャレンジ！『赤蜻祭』

せきしようさい

いいたてつ子発表会『赤蜻祭』「可能性」を謳う感動のステージ

想いをこめた表現で
一人ひとりが輝いた



MOMOTARO (3・4年生)

10月30日、『いいたて希望の里学園』で、いいたてつ子発表会『赤蜻祭(せきしようさい)』が開催されました。

テーマは「可能性、無限大」。実行委員長の高橋正人さん(9年生)が「新型コロナの影響で活動が制限される中だからこそ、可能性が無限大であること」を表現しよう」と開会を宣言。山田徹校長があいさつし「全教職員が一人ひとりのよさを大切

見守っている。『自分のよさ』を発揮する姿を見てください」と発表会に込めた想いを伝えました。

伝統を新たな形で継承する前期課程の「いいたて元気太鼓」、後期課程が受け継ぐ「小宮の田植踊り」、そして一人ひとりが輝いた学年の発表、場内を圧倒した特設部のステージなど、どこを取っても素晴らしい発表会となりました。

「いいたて学」の発表についてはP4からの特集で紹介します

小宮の田植踊り



胸に生きる 思い出

いつも村を 思わん

までのいの心 めぐりて

わたしたちの ふるさと

全校合唱

児童生徒が体育館いっぱいに歌声を響かせました。この「故郷」4番の歌詞は平成28年度に飯館中学校の生徒が作家・伊武トーマさんと共に創作したものです。



MOMOTARO (3・4年生)
流暢な英会話で昔話「桃太郎」を演じました。鬼と対戦するシーンでは見事な殺陣(たて)も披露し会場をわかせました。

MOMOTARO in English!
英語劇で桃太郎!



開会宣言



いいたて元気太鼓



現代風狂言「柿山伏」(5・6年生)



現代風狂言「柿山伏」(5・6年生)



がくしゅうのやいば(1・2年生)



がくしゅうのやいば(1・2年生)

